

季節は大寒となり毎日寒い日が続きますが、当出張所の所在する揖斐川町三輪付近では積雪ナシの状態です。昨年なら既に何回か行っている雪掻きも、今年はまだ行っていません。工事現場においても雪が少なく、今のところ順調に施工が来ています。年度末も控え、ドカ雪が降らないことを切に祈っています。

TEC-FORCE隊員の経験を今後に

当事務所と(一社)揖斐建設業協会は、TEC-FORCE(緊急災害派遣隊)派遣職員の経験等を今後の危機管理体制や災害派遣対応に生かすことを目的として、「台風26号に伴う伊豆大島TEC-FORCE派遣報告会」を、12月19日に揖斐建設業協会事務所において開催しました。

当日は自治体職員や地元企業の方など約110名の聴講者が集まり、派遣された大塚副所長と高橋設計係長より、伊豆大島での活動状況の報告や、過去に行われた活動内容についても説明しました。

聴講者からは「派遣された方のナマの話を聞いて参考になった。」「災害時における建設業界の活動をもっとPRしていく必要を感じた。」等の感想を頂きました。



活動状況の報告を行う
大塚副所長



参加者から活発な
質疑がありました

「猛禽類に配慮した工事勉強会」を開催

揖斐川上流域は自然豊かな地域で、イヌワシやクマタカなどのレッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物(動植物)のリスト)に記載されている猛禽類の生息が確認されています。

当事務所が行う砂防工事現場の近くでも、これらの希少猛禽類の生息が確認されることがあり、工事を行うにあたり特別な配慮が必要になります。そこで1月10日に、いであ(株)川西誠一さんを講師に迎え、これらの猛禽類の特徴や、工事を行うにあたっての配慮すべき事項や期間などについて説明を受けました。

今回の勉強会は、事務所職員だけではなく、現在当事務所で工事を行っている施工業者の技術者も参加し、種の保存に向け真剣に耳を傾けていました。



いであ(株) 川西誠一さん



工事を行う現場技術者も
参加し勉強会を開催

発生土の有効活用 = 敷原谷 =

本集市根尾長嶺(ねおながみね)地先で工事を進める敷原谷(しきはらたに)第一砂防堰堤工事(施工:田中建設工業株)は、現地発生土を有効に活用するため、発生土とセメントを攪拌混合し、振動ローラーで締固めを行う砂防ソイルセメント(INSEM工法)を採用し、1月16日より施工に着手しました。

INSEM材の製造にあたっては含水比の管理が重要となります。施工が積雪期と重なり管理が大変な時期ですが、自走式土質改良機(リテラ)を使用し、品質の安定化を図っています。



リテラによる攪拌・混合

祝 Co初打設 = 大仲津谷 =

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先で工事を進める大仲津谷(おおなかつたに)第1砂防堰堤工事(施工:榊山辰組)では、小雪がちらつく中、砂防堰堤の本体コンクリートの初打設を迎えました。

4月中旬に工事着手して以来、工事用資材を運搬するために現道拡幅等を行ってきたて来ましたが、着工以来約9ヶ月でようやくこの日を迎える事が出来ました。



寒風の中 コンクリート打設



雪の中でも元気に登校



雪が降った朝に揖斐川町坂内広瀬(さかうちひろせ)地先を通りかかると、小学生の通学班を見かけました。雪を恨めしく感じていた私は、小さな小学生達が雪道を元気いっぱい登校する姿に、元気を貰いました。



雪の中 登校する小学生
(1月17日撮影)



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp